

～教育は人づくり、人づくりはまちづくり、まちの未来づくり～ 第3回「教育を語り合う会」を開催しました！

真鶴町教育委員会では、「素晴らしい一貫教育校を真鶴町民みんなの力で」を合言葉に、将来の学校や教育について町民みんなで話し合う場として、「教育を語り合う会」を開催しています。今年度第3回目は、2月17日(土)、町民センター3階の講堂で行われ、60名以上の参加者がありました。前回に引き続き、県西教育事務所の神谷社会教育主事の進行のもと、アイスブレイキングやワークショップが和気あいあいと進められました。

今回のワークショップは「ワールドカフェ」方式で行われ、ほかのグループの協議内容・成果物も、ゆっくりと共有することができました。「学校に、『あったらいいな』こんなもの・こんな場所」をテーマに話し合われた主な内容を紹介します。

◇「ワールドカフェ」って、どんな進め方なの？◇

- ①テーマについて個人で付せんに書き、グループで共有する。
- ②グループの代表一人は、説明役としてそのままグループに残る。
- ③他の人は別のテーブルに移動し、アイデアのやり取りをする。
- ④最初のテーブルに戻り、様々な意見やアイデアを交換する。
- ⑤参加者全体で共有する。



ワークショップ：テーマ「学校に、『あったらいいな』こんなもの・こんな場所」

大切にしたい考え

- 子どもの幸せ＝先生の幸せ＝地域の幸せ
- 地域全体で教育をつくる ⇒ 未来の地域をつくる
- 町中が『学校』だったらいいなあ

校舎の内装・外観

- 屋根のある校舎
- 自由に絵が描ける壁
- 自然素材のインテリア
- 小松石のアート

校舎の周辺環境

- のびのび運動できる校庭
- みんなで育て食育にも使える畑
- 生き物(命を感じる)
- 海を眺められる場所

ゆっくりできる空間

- まったりくつろげるスペース
- 一人でも安心していられるところ
- 教師のいやしの場も

学びの空間（普通教室）

- 日当たり、風通しのよい教室
- 色々仕切れる広い教室

学びの空間（普通教室以外）

- 他の学年と交流するフリースペース
- 美術館や博物館のような文化に触れる空間、設備
- 心の相談室、明るく入りやすい部屋
- 自由に使える自習室(家庭で勉強できないときに)

学校用家具

- 扉などついている広いロッカー
- 大きなけい示板
- 今より大きな机
- おしゃべりできるベンチ



職員室・学校図書館

- オフィスのような職員室
- 司書がいる図書室
- たくさんの本がある図書室
- 収納上手な職員室
- のんびりできる図書室
- 町の人も来る図書室

体育施設・海・プール

- 冷暖房のついた体育館
- 真鶴の海で安全に泳げるように
- 広い運動場
- プール(室内)

ネット環境と学校の授業・日課

- 他学校、世界とつながるWeb教室
- プロジェクトを追求できる授業
- ゲームで勉強

食の空間

- 1Fに避難所になっても使える給食室
- 学年をこえて交流できるランチルーム

地域との交流空間

- 高校生や大人も勉強できるスペース
- 地域の人も入れるみんなのカフェ

トイレ・遊び場等

- きれいな洋式トイレ
- バリアフリー(トイレ、多様性)

- たくさんの遊具
- 秘密基地のような遊び場
- かくれんぼや探検ができるワクワクする学校

防災・防犯・人権

- 身元不明者が入れないシステム
- 地域の出入りによりセキュリティもアップする
- インクルーシブ教育に深い思いがある学校

終了後の振り返り（一部）



- 年代を越えて色々な意見や思いを聞くことができ、とても参考になった。子供たちの思いを大切にしたい。
- これから大人の責任として、子どもたちの考えの背景にある願いをみんなで想像しながら、新しい学校創りに生かしていきたいと思います。
- 僕は、この出た意見が取り入れられた学校があったら、休みの日も通いたいと思いました。
- 他班の様子や成果を見る時間があって良かったです。
- 人口が少ない真鶴町なのに、たくさんの人が集まっていて驚いた。教育に対する熱量がすごい。移住するのが楽しみになりました。
- 町民が参加できるこの環境が素晴らしいと思います。
- アイデア出しの作業はとても楽しかったのですが、どの回でも「粹」がすでに決まっているように感じました。

来年度は、6月15日(土)、10月26日(土)、2月15日(土)を予定しています。
いずれも、時間は「9:30～11:30」、場所は町民センター3階講堂です。

詳細な内容は
こちらから →

